

長野体育学会 第58回大会 シンポジウム開催

<開催の目的>

本シンポジウムでは、「学校の部活動をどのように地域移行するか」という現在直面している喫緊の課題を取り上げ、その良い取り組み事例を提供することによって、子どもたちのスポーツ環境を維持しながら、かつ、子どもたちにより良いスポーツ環境を提供するための「視点」を提供、または、現場における課題と問題点を如何に解決していくか、子どもを中心に据えて、今後の方向性およびあり方について議論を展開し、情報共有を図り、その地域及び環境に応じた解決策のヒントを探ってまいります。



<開催の概要>

日時：2023年3月4日（土） 午前9時30分開始～12時30分

場所：長野工業高等専門学校

テーマ：「学校部活動の地域移行を考える」

シンポジスト：

安藤 均 氏 （木曾町教育委員会 指導主事）

麻原 恒太郎 氏 （松本市スポーツ協会 専務理事兼事務局長）

柳見沢 宏 氏 （NPO法人長野スポーツコミュニティクラブ東北 会長）

コメンテーター：

亀井 耕治 氏 （長野工業高等専門学校 事務部長）

酒井 修一 氏 （長野県教育委員会事務局 スポーツ課 教育主幹兼学校体育係長）

主催：長野体育学会

後援：長野県教育委員会

費用：公開フォーラム（無料）

定員：60名（参加には事前申込が必要です、裏面下欄をご参照ください）

お問い合わせ先：

長野体育学会事務局 e-mail：info19@nagano-ph.com

<シンポジウム内容要旨>

文部科学省は、平成30年に「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」にて「学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める」などの方針を示し、令和2年には、働き方改革を踏まえて、令和5年度以降は休日の部活動の段階的な地域移行を図るなどとし、令和4年12月に出された「運動部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」では、令和5年から令和7年までを改革推進期間と位置付けています。

これまで運動部活動の地域移行に関して、広く検討が行われていますが、本県においても新たな取り組み、そして、既に長年にわたって取り組まれている事例があります。本シンポジウムでは、これらの事例を発表してもらうことにより、情報を共有し、子どもたちにとってのより素晴らしいスポーツ環境の構築を目指しての議論を展開し、今後に資する第一歩としたいと考えています。

<シンポジストのご紹介>



安藤 均氏
(木曽町教育委員会)

「地域が子どもを育てる～木曽町の取り組みから～」と題して木曽町の事例について発表していただきます。単に教員の負担を減らすという視点だけでは、地域住民からの協力は得られにくい側面があり、また、主体である子どもが置き去りにされている現象も見逃してはなりません。「地域が子どもを育てる」という視点に特に注目し、子どもを中心に考えた「みんなで子どもを育てる」という日本の昔ながらの良き伝統に立ち返って、子どもを中心に置いた環境づくりの在り方を再認識し、スポーツの「在り方」についても併せて考えたいと思います。



麻原 恒太郎氏
(松本市スポーツ協会)

「中学校運動部活動の地域移行における学校および地域関係者の課題に関する認識」と題して発表していただきます。①学校関係者、②保護者、③スポーツ団体関係者、④地域団体関係者等にインタビュー調査を実施し、子どもを主語とした運動部活動の円滑な地域移行のための条件を探ろうとした調査研究を行っていただけることから、その調査結果について発表していただき、現場における認識と課題について共有したいと思います。



柳見沢 宏氏
(NPO法人長野スポーツ
コミュニティークラブ東北)

「総合型地域スポーツクラブとして、『部活動の地域移行』と『包括連携協定』を考える」と題して、長年の実績を持つスポコミ東北の事例について報告していただきます。同クラブは、高等教育機関との包括連携協定を結んだ「長野市総合型地域スポーツクラブ北部連合」に加盟し、長野高専バスケット部とも10数年にわたる交流実績があります。包括連携協定を機に、中学3年生向けに受験勉強教室を開催するなどの活動も展開しており、これらの事例についても紹介していただきます。「人」、「想い」、「関係性づくり」等の組織上のキーポイントについても開陳していただくとともに、今後の方向性、展望についても情報提供をいただきたいと思います。



本シンポジウムを通して、学校部活動の地域移行問題に取り組んでいらっしゃる方々の事例と課題について情報を共有し、議論することを通して、それぞれの関係諸団体における今後の展開に向けて寄与し、地域に応じた活動へのきっかけないしヒントを少しでも提供することができればと願っています。

今回のシンポジウムは、今後に向けてのキックオフイベントとしての位置づけでもあります。最終的なゴールは、全ての子どもたちのスポーツを始めとした諸々の活動環境及び機会が保障、整備されることであり、また、それぞれの能力及びニーズに応じた支援が受けられる環境を併せて整備することです。それは、学校現場に依存しすぎてきたこれまでの現状を振り返り、それにより発生している様々なひずみを解消することにもつながるであろうし、「教育」の在り方、「スポーツ」などの在り方を考えることにもつながるものと考えます。

多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

参加希望者は下記のフォームまたは右記QRコードより参加登録をお願いいたします。

<https://forms.gle/iD5qTfzDZ3gE7fea7>

受付名簿作成と会場設営のため、参加希望者は一般演題の発表有無等に関わらず全員ご登録ください。

参加登録は定員に達し次第、または2/28正午までとさせていただきます。

当日はマスクの着用、手指消毒等の新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いいたします。

